

かいほう

東京都公立小学校事務職員会 会報 第180号

http://otegaruhp.com/tokoushouji/html/_TOP/

平成25年3月31日発行

東京都公立小学校事務職員会

発行 会長 岩上 直人 (板橋区立北前野小)

編集 広報部長 小野 明 (品川区立台場小)

〒140-0002 品川区東品川1-8-30

TEL 03(3471)3397(代)

広報部 岩瀬たつ子 (世田谷区立中町小)

加藤 義則 (世田谷区立世田谷小)

渡部 正徳 (北区立西浮間小)

— 第52回 研究大会報告 —

平成25年2月15日(金)津田ホールにおいて、第52回研究大会が開催されました。

開会式には、東京都教育庁総務部教育政策課教育政策担当課長 船山 徹 氏、東京都公立小学校長会厚生部長 大田区立東糀小学校長 宮田 周一 氏、東京都公立中学校事務職員会会長 新井一正 氏、(財)日本教育公務員弘済会東京支部支部常任幹事 清水頭 賢二 氏 にご臨席いただき、宮田 周二 氏よりご挨拶をいただきました。

開会式に続き、東京都教育庁教育政策課教育政策担当課長 船山 徹 氏 を講師にお招きし、東京都教育庁の教育行政諸事業について講演していただきました。教育庁所管事業予算・職員定数については、平成25年度の教育費歳出予算が、7559億2300万円(前年比0.8%増)で、給与関係費0.0%台の減、事業費7.5%増となり、職員定数が小・中・高・特別支援学校合わせて63,102人(前年比129人増)となっています。

主要教育施策で小中学校が関係するような施策としては次のような施策がありました。

「家庭の教育力の向上」「教員の資質・能力の向上」「外部人材の教育活動への積極的な活用」「特別な支援が必要な子供の教育の充実」「子供の安全・安心の確保」「児童・生徒の『確かな学力』の向上」「子供の心と体の健やかな成長」

「子供の心と体の健やかな成長」では、いじめに関する総合対策の実施として、公立学校へのスクールカウンセラー配置の拡大が盛り込まれています。(詳細は2,3ページをご参照ください。)

本部研究報告では、本会研究部より『共同実施を知ろう』について報告があり、他県の実例が客観的な視点から詳しく紹介されました。今後は東京都の共同実施モデル事業についての研究が課題になっていく模様です。(詳細は「学校事務研究」をご参照ください。)

お昼休みを挟み、研究協議1では、品川支部より12年前の導入された学校事務システムが、どのように活用され変わってきたかの実践事例が発表されました。学校事務の効率化は学校の中の事務処理だけでなく区教委を含めた全体で考えないと成功しないこと、エンドユーザーである学校事務職員が主体的にシステム改修等の検討・検証作業に参加することにより区教委に対する高い発言力の裏づけとなる、などの内容が印象に残る有意義な発表でした。

(詳細は「学校事務研究」をご参照ください。)

研究協議2では、支部紹介として、三鷹、新宿、小平 島しよ、東大和、台東支部より、各支部の現状と課題について、司会を務めた本会会長からの質問に答える形で発表がありました。支部員数や各地教委との関係により同じ公立小学校の事務職員会でも活動形態は様々であり、他支部の様子を知ることにより自分が所属する支部の課題をあらためて見つめ直すきっかけになる発表でした。

(詳細は5~14ページをご参照ください。)

参加者の皆様のご協力により、時間内にすべての予定を終え、研究大会は閉会しました。

[参加者数：本会会員259名、都公中事13名、他府県37名、地教委その他9名、計318名]

(広報部 加藤 義則)



岩上会長挨拶



宮田校長祝辞



船山課長講演



研究部報告



研究協議1

平成 25 年度教育庁所管事業予算・職員定数等について

I 歳入歳出予算 (歳入は、都債・繰入金・宝くじ収入を除く。)

(単位：百万円)

区 分		平成25年度 予 算 額	平成24年度 当初予算額	増 △ 減	増減率 (%)
歳 出	教 育 費	755,923	749,748	6,175	0.8
	給 与 関 係 費	666,000	666,109	△ 109	△ 0.0
	事 業 費	89,923	83,639	6,284	7.5
歳 入	歳 入 合 計	132,531	133,590	△ 1,059	△ 0.8
	国 庫 支 出 金	127,780	128,910	△ 1,130	△ 0.9
	そ の 他 歳 入	4,751	4,680	71	1.5
差引一般財源充当額		623,392	616,158	7,234	1.2

II 教職員定数

(単位：人)

区 分		平成25年度 定 数	平成24年度 定 数	増 △ 減	内 訳
学 校 定 数	小 学 校	30,530	30,498	32	児童数(新設・廃止含む)等 理数教育の充実 31 1
	中 学 校	15,602	15,495	107	生徒数(新設・廃止含む)等 中1ギャップ加配 50 35人学級の実施(中1) △194 251
	高 等 学 校	11,202	11,274	△ 72	生徒数(学年進行・学級増)等 △ 24 中高一貫教育の充実 8 外国語による教育の実施 2 用務員定数等の見直し △ 58
	特別支援学校	5,768	5,706	62	児童・生徒数等 28 特別支援学校開設等 34
計		63,102	62,973	129	
事 務 局 定 数		671	675	△ 4	

次号 かいほう第181号 予告

1. 都公小事講演会・研究総会参加記
2. 特集1「実況！経営支援部Ⅱ」
3. 特集2「共同実施と学校(に在る)事務職員Ⅱ」

原稿大募集！ ・文字数 : 800～1200字
 ・送付期限 : 6月28日(金)
 ・形 式 : ワードまたは一太郎データ
 ・送付方法 : 電子メールまたはFD郵送
 ・送 付 先 : 品川区立台場小学校 事務室 小野 明(広報部長)
 〒140-0002 品川区東品川1-8-30
 ononakr@city.shinagawa.tokyo.jp

☆船山 徹氏 講演資料

1 家庭や地域の教育力向上を支援する

(1) 家庭の教育力の向上

- **学校と家庭の連携推進事業** 100 百万円
 - いじめ・不登校・暴力行為等、学校生活において課題の見られる児童・生徒やその保護者を支援するため、地域人材(民生・児童委員、保護司等)を活用した「家庭と子供の支援員」を配置
 - 支援員で対応困難な事案に対し、専門的助言を行うスーパーバイザーを配置

(2) 幼稚園・保育所における教育的機能の向上

- **小学校との連続性を踏まえた就学前教育の充実** 5 百万円
 - 幼児期における忍耐力や善悪の判断等の規範意識を育むため、「就学前教育カリキュラム」の中から規範意識に関する内容を抽出し、保護者等を対象とする啓発資料を作成

(3) すべての都民の参加による地域教育力の向上

- **学校支援ボランティア推進協議会の設置促進** 131 百万円
 - 地域全体で学校教育を支援する体制を構築するため、学校支援ボランティア推進協議会の設置や地域コーディネーターの配置を行う区市町村を支援(27区市町 276箇所)
- **民俗芸能次世代育成事業【新規】** 2 百万円
 - 都指定無形民俗文化財の青少年向け伝承教室を継続的に実施し、その成果を地域等で発表する団体を支援

2 教育の質の向上・教育環境の整備を促進する

(4) 教員の資質・能力の向上

- **若手教員の育成** 1,671 百万円
 - 小学校新規採用教員の育成を図るため、経験豊かな再任用教員と2人で学級担任を担う体制を確保
 - 新規採用時から3年までの若手教員育成研修を実施
- **学校リーダー育成プログラム【新規】** 2 百万円
 - 将来教育管理職として必要なマネジメント能力等を身に付けさせるため、主任教諭歴2年以上で30代の教員を対象とする学校リーダー育成プログラムを策定、実施
- **教職員のメンタルヘルス対策** 301 百万円
 - ストレス問診票によるスクリーニング、リワークプラザ東京における精神疾患による休職者の職場復帰訓練、副校長昇任者を対象とする研修時の健康相談・カウンセリング等を実施

(5) 特色ある学校づくりの推進

- **都立高校における外国語による教育の実施【新規】** 17 百万円
 - 外国企業の誘致促進に向けた環境整備の一環として、都立高校で英語による授業を実施する体制を整備するとともに、国際バカロレアの趣旨を踏まえたカリキュラム等について検討

3 子供・若者の未来を応援する

(9) 児童・生徒の「確かな学力」の向上

- **児童・生徒の学力向上施策の充実** 235 百万円
 - 小中学校
 - ・ 小5・中2を対象に都独自の学力調査(悉皆)を実施するとともに、学力調査結果を踏まえ、自地区の学力改善に取り組む区市町村を重点的に支援【新規】
 - ・ 小4までに習得すべき基礎的・基本的事項に関する教材を開発【新規】
 - 都立高校
 - ・ 24年度に策定する「都立高校学力スタンダード」に基づき、各都立高校が設置目的に応じた独自の学力スタンダードを作成し、自校の学力目標を具体化、明確化
 - ・ 「都立高校学力スタンダード」を踏まえた学力調査を実施【新規】
 - ・ 都独自の大学入試問題分析集の作成や外部人材を活用した自主学習支援により生徒の学力を向上
- **理数教育の推進** 111 百万円
 - 小中学校
 - ・ 理数フロンティア校を指定し、効果的な指導法や教材を研究開発【新規】
 - ・ 科学に興味・関心の高い中学生を対象とする「東京ジュニア科学塾(仮称)」を創設【新規】
 - ・ 観察・実験に関する知識・技能の向上のための講座等、教員研修を充実【新規】
 - 都立高校
 - ・ 理数フロンティア校(5校)を指定し、理数教育の充実に関する教育実践モデルを開発
- **英語教育の推進【新規】** 22 百万円
 - 小学校の外国語活動における指導案の作成や教材開発等に関して、アドバイザーが教員に助言する仕組みにより、小学校教員の英語指導力を向上
 - 都立高校については、外部有識者を委員とする検討会を設置し、英語教育の推進に向けた施策を幅広く検討
- **言語能力向上推進事業** 138 百万円
 - 児童・生徒の言語能力の向上を図るため、言語能力向上推進校を指定(24年度小・中学校100校 都立学校30校 → 25年度小・中学校150校 都立学校45校)
 - 書評合戦や弁論大会等を行う「都立高校生 言葉の祭典」を開催
 - 「高校生書評合戦首都大会(仮称)」を開催【新規】

(10) 子供の心と体の健やかな成長

- **いじめに関する総合対策の実施** 3,600 百万円
 - 「児童・生徒の健全育成緊急対策本部」の下、いじめ問題対策を総合的に推進
 - ・ 専門家会議を設置し、児童・生徒の自殺予防やいじめ等の問題行動への対応の在り方全般について検討
 - ・ 公立学校へのスクールカウンセラーの配置を拡大し、校内相談体制を充実
 - ・ 「学校問題解決サポートセンター」の相談機能を拡充
 - ・ 今後の施策に反映させるため、いじめ問題に関する総合的な調査研究を実施【新規】

- **専門高校の改善【新規】** 36 百万円
 - 就業機運の変化等を踏まえ、専門高校に対する社会のニーズを把握するための調査を実施
 - 指定校において、専門資格の取得促進につながる効果的な指導方法等を研究
 - 専門高校教員の実践的な指導力の向上を図るため、企業派遣研修等を実施
- **都立学校の新規開校(平成25年度開校予定)** 40 百万円
 - 1校(志村学園)
- **都立小中高一貫教育校の設置に向けた検討【新規】** 10 百万円
 - 都立小中高一貫教育校の設置に向け、12年間の系統的・継続的な教育課程等について検討

(6) 外部人材の教育活動への積極的な活用

- **教育庁人材バンク事業** 32 百万円
 - 外部人材の情報を一元管理し、学校の要望に合致する人材をコーディネーター

(7) 特別な支援が必要な子供の教育の充実

- **東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画の実現** 33 百万円
 - 特別支援教室の設置に向けたモデル事業を実施(4地区)
 - 都立高校に在籍する特別な支援を要する生徒に対する特別支援教育の実施に必要な体制整備に関するモデル事業を実施
- **外国人児童・生徒への対応** 18 百万円
 - 日本語指導が必要な外国人の都立高校生のため、外部人材による授業補助等を実施

(8) 子供の安全・安心の確保

- **放課後子供教室の推進** 1,586 百万円
 - 放課後や週末等に小学校等を利用して、安全・安心な居場所を確保(52区市町村 1,170箇所)
- **インターネット等の適正な利用に関する啓発・指導** 22 百万円
 - 学校非公式サイト等の監視結果及びインターネット・携帯電話利用に関する実態調査の結果を踏まえ、インターネット等の適正利用に向けた対策を検討し、指導事例集等を作成
- **防災教育の充実** 79 百万円
 - 災害発生時における自助・共助の意識を育成するため、全都立高校で一泊二日の校内宿泊防災訓練を実施
 - 防災教育推進校(15校)を指定し、災害時支援活動体験等のより実践的な防災教育を実施
- **耐震化の推進** 1,513 百万円
 - 区市町村立小・中学校・幼稚園の耐震化事業に対する財政支援を行う耐震化支援事業を延長
 - 新たに、天井材等の非構造部材の耐震化に対しても支援を実施【新規】
- **冷房化の推進** 458 百万円
 - 市町村立小・中学校の普通教室冷房化を支援(国庫補助対象事業費の1/6及び工事費の劣勢単価と国庫補助単価の差の1/2を補助)する冷房化緊急支援特別事業を延長

- **道徳教育の充実** 13 百万円
 - 公立小中学校・都立高校において、都独自の教材を活用した道徳教育を実施
 - 都立高校では、教科「奉仕」と連携した道徳教育推進校12校を指定【新規】

- **体力向上施策の推進** 151 百万円
 - 東京都統一体力テストを全公立学校の全学年で実施し、結果を学校及び児童・生徒へ還元
 - 第5回中学生1東京駅伝1大会を開催

- **スポーツ教育の推進** 333 百万円
 - 「スポーツ教育推進校」(300校)を指定するとともに、トップアスリートを学校に派遣
 - 体育授業における指導の充実のために、非常勤講師を配置

- **部活動の推進** 502 百万円
 - スポーツ祭東京2013に向けた部活動による競技力向上(国体強化部活動の指定)
 - 26年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の四都県合同開催に向けた準備及びPR

- **校庭芝生化の推進** 2,859 百万円
 - 公立小中学校の校庭芝生化を実施する区市町村へ財政支援(工事70校、設計45校)
 - 都立高校12校、特別支援学校3校の校庭を芝生化

(11) 子供の社会的自立を支援する取組の推進

- **系統的なキャリア教育の推進【新規】** 15 百万円
 - 小中学校において外部人材を活用したキャリア教育を推進
 - 普通科都立高校のキャリア教育に関する手引書等を開発するとともに、教育課程編成について検討
 - 指定校における実践研究を通じ、肢体不自由特別支援学校のキャリア教育・職業教育の充実策を検討
- **企業・NPOと連携した社会的・職業的自立支援事業** 31 百万円
 - 企業・NPOと連携し、都立高校生の社会的・職業的自立を支援する教育プログラムを、普通科都立高校30校の各教科・科目で展開【新規】
 - NPOと連携し、都立高校生の中途退学を予防するとともに、中途退学者や進路未決定のまま卒業した者に働きかけ、復学や進路決定に向けた支援を実施【新規】

(12) 首都東京・国際社会で活躍する日本人の育成

- **都立高校日本史必修化** 15 百万円
 - 都独自の日本史科目「江戸から東京へ」の指導資料を改訂
- **次世代リーダー育成道場** 312 百万円
 - 都立高校生が我が国の歴史や伝統文化に関する知識・理解、海外で通用する英語力等を身に付けた上で海外へ留学することを支援し、世界と渡り合える人材を育成
- **英語教育の推進(再掲)** 22 百万円

わたしの「共同実施」

世田谷区立玉川小学校 富田 牧子

「共同実施」という言葉を私は昨年4月から何度も聞いてきました。初めのうちは「校務改善」と混ざってしまってなんのことやらわかりませんでした。その後先輩から話を聞いたり、冊子を読んだりしていくうちに今では頭の中では文字として意味がわかってきました。

2月15日津田ホールで行われた研究大会で他県の実施例を聞くことができ、少しずつ切実なものとなってきました。でもわたしにはどうしても理解できません。東京都はどうして共同実施を始めたのでしょうか。財源が減り、事務職員の人数も減っていく中でそれでも学校では同じ業務をしていくためにはいたしかたないのかもしれない。

しかしブロック方式、拠点校方式のいずれにしても複数の学校をかけもち、二校分の仕事をすることが事務処理の効率化を図ることにつながるとは思えないのです。

わたしは平成元年に入都しました。1か月間の研修を受けて学校事務職員が大切な存在だと教わりました。

「学校の主役は子どもたちである。子どもたちのためにある。その子どもたちを直接教えているのが教員でありもしその給料がきちんと支払われなかったら教員はやる気を失うに違いない。もし教材や教育環境が整っていなければ教員は十分な授業をすることができないだろう。だから事務職員は子どもたちの教育のために大事な役割を担っている。」

今わたしはその言葉からかけ離れていっているのではないかと感じています。

先日わたしはある教員からこう言われました。「江東区の小学校にいる知り合いの先生が今たいへんなことになっていると言っていたけれど、富田さんはどこか他の学校にいつてしまうの？どこにも行かないでね。」教員が「困る」「不安だ」と思うことはたいへんなことだと思うのです。

わたしは校務改善や共同実施について本当は全くわかっていないのかもしれない。多分もっと知る必要があると思います。そして早くもっと自分のこととしてわかりたいと思います。

研究大会に参加して

匿名希望 Aさん

他局より小学校に異動してきてまだ日が浅いため、今回初めて研究大会に参加させていただきました。突然で驚きましたが、感想を書くようにとの依頼を受けましたので、拙い文章で恐縮ですが、感想を書かせていただきます。

今回は、仕事の都合もあり、午前中の開会式と講演、本部研究のみの参加でした。

講演は、教育庁総務部教育政策課の課長より、来年度の予算定数案に基づく重点課題の解説でした。予算は6年ぶりのプラス案になったそうで、教職経験の長い講師よりわかりやすく説明していただきました。日常業務では忙しくて教育庁のホームページを見る余裕などないので、いじめ対策や若手教員の育成などの重点項目を確認できてよかったです。予算額は少なかったのですが、都立小中高一貫教育校設置の検討をしていることに驚きました。

本部研究は、共同実施について、すでに実施している他県の例をふまえての解説でした。学校に異動してきて驚いたのは、先生方の忙しさ（とそれに伴う事務室の忙しさ）、行事の多さとその期限ぎりぎりに仕上げる先生方のパワーです。共同実施はたぶん、やってやれないことはないだろうと思います。ただ、「時間がないけど、予算がないけど、何とかならないか」というご相談をどう形にしていくかという仕事がほとんどなので、週に何回かしか現場に行かない「共同実施」にしてしまったら、先生方の忙しさや負担は増すだろうと日々の業務を通じて思います。

スタッフの皆様、大会運営お疲れさまでした。日程調整も大変だと思いますが、給与支給日は外していただけると出張しやすくなる方も多くなるのではないかと思います。

月に一度の区の事務職員会は、いろいろ情報交換もでき、とてもありがたい存在です。その全都版の今回のような研究大会では、あちこちで旧知の方同士がお話されている姿が見受けられ、やはり重要な場だと思いました。

－研究協議２－支部紹介

パネリスト：三鷹支部 三鷹市立井口小学校 寺岡 宏文
新宿支部 新宿区立江戸川小学校 関 誠一
小平支部 小平市立小平第三中学校 渡辺 徹
島しょ支部 利島村立利島小中学校 鈴木 恒明
東大和支部 東大和市立第六小学校 中曽根 潤
台東支部 台東区立蔵前小学校 小林 都
司会：都公小事会長 板橋区立北前野小学校 岩上 直人

司会「研究協議２では、各支部の現状について、お話をさせていただきます。

まず最初に、5分程度ずつ出席者の方の自己紹介と各支部の簡単な紹介をしていただきその後、テーマに沿って各支部の現状について報告していただきたいと思います。」

三鷹「三鷹市立井口小の寺岡です。三鷹の特筆すべき点は「小中一貫教育」です。「小中一貫校」はありませんが、7つの中学校を母体として「学園」を組織し「小中一貫教育」を行っています。平成16年4月の西三鷹学園が最初で、その後順次設立されました。設立総会や記念総会には相当のお金がかかりました。学園歌も作り、行事では校歌と両方歌います。日常の業務の変化としては小中交流。毎日のように小中の教員が互いに行き来し、授業の補助をしています。また、連雀学園他の「コミュニティスクール（地域運営学校）」を都内でも足立区五反野小に続き、早くから実施し、地域の方に色々とサポートしていただいています。「小中一貫教育」発足当時の教育長は、5、6年生が中学校に行って授業を受ける等、今よりもっと進んだ形を考えていたようですが、地域や財政の事情で今の形になりました。

事務職員会は毎月1回です。もう一つ、「教育研究会学校事務部」の活動がありましたが、「勤務時間内の自主研修はおかしい」との以前からの校長会の指摘や、事務職員のカラ出張問題等もあり、23年度に自粛・休止、24年度に廃止となりました。現在は研究の場が確保できず、事務職員会の最後に短時間で研究を行っています。」

新宿「新宿区立江戸川小の関です。新宿は小学校29校、中学校10校、養護学校1校です。小学校には区費事務職員は配置されていませんが、事務補助員雇用のための賃金予算(週2～3日)が各校に配付されています。中学校と養護学校には区費事務職員が配置されています。24年度の小学校都費事務職員の内訳は、正規24、再任用5、再雇用1名です。年齢構成は20代2、30代2、40代8、50代12、60代6名で、40代から60代が9割近くを占めています。今回の事前アンケートの際、20年度と24年度の小学校事務職員名簿を比較したところ、この5年間で永年新宿区を支えてきたベテラン事務職員が14名定年退職していました。

昨年度までは5ブロックに分けて事務職員会活動を行ってきましたが、小学校が初めての再任用や転入職員の増加で活動に支障が出てきたため、今年度から3ブロックにする対応策を講じています。事務職員会は8月を除き毎月1回開かれています。4月は定例事務職員会の他、区の予算説明会も開かれます。毎月の事務職員会の前に、教育委員会と事務職員の情報交換を含めて年間7回の事務連絡会が開かれています。教育委員会事務局から、各課の担当係長が出席し、小学校・中学校事務職員会から代表が出席します。小学校は会長・副会長、各地区ブロック運営委員が出席します。事前に質問・要望事項を区教委事務局に送付し、担当係から回答・説明を受けます。事務局から学校への連絡・質問等もあり、定例会で報告します。情報交換だけでなく、相互の信頼関係を培う大きな役割を果たしています。」

小平「小平市立小平第三中の渡辺です。小平市は人口18万人で今年、市政50周年を迎えます。戦後、都心のベッドタウンとして、また工場の進出もあって人口が急激に増加し、昭和37年に市制を施行しました。現在、小学校19校、中学校8校あり、都費負担事務職員が27名(正規職員21名・再任用職員6名)、市費事務職員27名(嘱託員)が学校事務職員として働いています。市費事務職員(嘱託員)の勤務条件は、1日6時間勤

務（ただし、8月は原則として勤務なし）。最長3年まで勤務することができますが、それ以降も採用を希望する場合には少なくとも1年間あけたうえで採用選考を受け直さなくてはなりません。勤務経験による選考上の有利は無しで、経験やノウハウが活かされないという問題があります。

事務職員会組織についてですが、小平市においては、小中合同で『小平市公立学校事務職員会』を立ち上げていますが、平成16年度より勤務時間内の活動が認められなくなりました。しかし、学校事務が未経験である職員が市内に転入する一方でベテラン職員が退職し、情報共有やノウハウの継承が困難になり、平成22年10月から指導課主催の『学校事務職員実務研修』を実施する事になりました。この研修の実施計画及び内容については、事務職員会が主体となって企画立案しており、都費事務職員間の情報共有やノウハウの伝授が図られるようになりましたが、市嘱託員の事務職員会が無いという課題はあります。

予算についてですが、最近、学校長の権限が強化され、決裁は原則10万円以下となりました。図書購入費（50万円以下）等、一部の例外はあります。什器等教育委員会事務局において一括購入している備品は、学校において購入することはできません。施設維持管理予算・工事費は配当されず、『修理伺い』を提出して市教委が対応します。備品の基準単価は1万円以上、ただし台帳記載は5万円以上です。用務職員は委託契約による派遣です。学校図書館の充実策として、学校図書館協力員の配置、市内図書館・学校図書室とのシステム連携があります。』

島しよ「利島村立利島小中学校の鈴木です。島しよ支部はたいへん広く、人の住んでいる島が伊豆諸島は9つ、それに小笠原を含め11島からなります。大島支部は大島・利島・新島・式根島・神津島の5つの島があり、新島と式根島は同じ「新島村」で、4つの町村からなる支部です。大島支部が一同に会して何か（事務職員活動）をやるというのは物理的に不可能なので、実質的にそれぞれの島で独立して活動しています。

私の所属は正式には「利島小学校」で、利島小中学校は一貫校ではないのですが、校舎を共用し、6年生の教室の隣が中学校の教室、職員室も1つですので、敢えて「小中学校」と資料に書かせていただきました。今回のアンケートについては島しよ支部の実態に当てはまらない項目もあり、後ほど別の形で紹介したいと思います。

島も本土と同じく統廃合が進み、新島は2校ずつあった小中学校が1ずつに。事務職員も再任用が増えています。利島小中学校は各1名いた事務職員が私の異動時から小中兼任となりました。児童・生徒数は小中合わせて23名、各学年2、3名ですが、来年度新1年生が10名入学するため教室等の準備に追われています。ところが再来年度は新入生は0、その次の年はまた10名と…。新入生0は何とか避けたいので、どなたか（再来年度に1年生になる）お子さんがいらっしゃる方、利島に…（一会場笑一）」

東大和「東大和市立第六小学校の中曽根です。東大和の位置がピンと来ない方も多いと思います。私も就職するまでは何処にあるか知りませんでした。都庁から青梅街道を西へ24キロ、約1時間走りますと東大和市ですが、その後たった3.5キロで隣に抜けてしまう、とても小さな市です。東に志村けんで有名な東村山市、西は今日の午前にも共同実施で話題になった武蔵村山市、南は多摩地区の交通の要所である立川市、北は埼玉県所沢市です。余談ですが、今ほどサッカー少年がいない野球少年ばかりの頃は、子どもたちは皆、西武ライオンズ友の会に入って青い帽子を貰い、被って遠足に行くと、西武のイベントと間違えられる事もしばしばありました。（一会場笑一）」

東大和市は、小学校10校・中学校5校の計15校で、都費事務職員と臨時職員が各15名います。都費事務職員で事務職員会を組織し、「職場では同じ立場の人はいないが、ひとりじゃない、繋がっているんだ」という意識持ち続けられるよう、市教委や会員相互の連携を大切にして活動しています。集まりは月1回の事務連絡会のみですが、パソコンメールを連絡や会議の場として活用して「情報の発信・共有」を図り、連携を密にしています。56ページの市教委の資料は、「情報の発信・共有」の良い見本です。この資料は保護者向けに配布するだけではなく、図書館・公民館等、市内の至る所に置かれ、

お年寄りから小さなお子さんまで皆が持って行きます。小さい市で15校しかないからできる事ですが、15校全ての情報が外に開かれています。

私たちの活動にはパソコンメールが欠かせません。市教委は「情報の速さ」を大事にしてくださり、都からの文書も翌日かその日のうちに届き、交換便より速くなりました。もう一点、市教委を持ち上げておきますと、(笑)事務職員対象に「一般研修」がありますが、どのような事を研修したいか?について、事務職員会の意見を聞いてくださいますので、日頃なかなかできないような内容・呼べないような講師を、市教委に要望しています。最近では、社会人でありながら今まで勉強をした事が無かった「名刺の受け渡し」、その他「上手な話し方」「年金」「ストレスマネジメント」等です。

私達が大事にしている「繋がり」の具体例についてお話しします。ひとつは「事務日程カレンダー」です。3人の役員がその月の事務日程表を作り、市教委が確認・加筆・訂正して全校に配信します。これにより皆が同じ日程表に沿って事務処理し、一人では起こりがちだった諸調査の提出期限忘れ等が無くなりました。

もうひとつは「事務職員会からの事務室だより」です。一人ひとりで毎月事務室だよりを出すのはたいへんですが、役員を除いた12人が1か月ずつ担当して作成、PDFではなくワードエクセルで配信、学校での加工もでき、配布も紙・データ様々です。一人が1回担当するだけで12回分が揃います。

事務室にはパソコンが2台ありますが、都費事務職員用は都給与システムに繋がるL2WAN仕様、市財務システムは市雇用職員しか操作できませんので市費事務職員用は市内LAN仕様。結果、インターネットに繋がるパソコンが無く、調べものがないという偏った状況です。予算は市費職員しか執行できませんので、非常に不都合を感じる時があります。旅費は紙帳票で請求し、現金を市役所に取りに行かねばなりません。

この3点が改善されれば、東大和は非常に仕事がし易いところです。」

台 東「台東区立蔵前小学校の小林です。私自身、台東に異動してまだ1年たっていませんので説明に不十分な点が多々あると思いますが、ご容赦願います。

台東区は23区の真ん中からやや北東寄りに位置しています。周りは北から時計回りに荒川・墨田・中央・千代田・文京区と隣接しています。面積は23区でいちばん小さい約10平方キロメートル。人口は3番目に少ない約18万人です。台東区の名前は、上野と浅草に由来しています。上野公園周辺からは、旧石器時代の遺跡や貝塚が出土しています。今回の発表原稿を作成するにあたって私も調べてみたのですが、この地域は1万年前から人が住んでいたと考えられていて、江戸時代以降に上野・浅草を中心に発展、元禄文化、明治維新、関東大震災、戦争を経て現在に至ると。このように永い歴史がある台東区には、色々な「発祥の地」があります。公園、動物園、博物館、遊園地、映画館、寄席、地下鉄、エレベーター、招き猫、喫茶店、信号機…。飲食店には創業200年を超える老舗もあります。

次に学校の紹介です。適正配置方針に基づく統廃合を経て現在、小学校19校、中学校7校です。私の所属の蔵前小学校も3校が1校に統合されて来年度10周年を迎えます。都費事務職員は小学校19校に20名、中学校7校に7名、うち再任用が小4、中2、再雇用が小1です。7割近くが50代以上ですが20代も一人います。区費事務職員は中に7名、小1名です。臨時職員は、要準加配未配置校と再任用短時間職員配置校に雇用予算が配当されています。

事務職員会は小中合同で月に1回程度、連絡事項がある時は区教委からも出席があります。役員は持ち回りで5年間で全員一度は経験します。活動内容は、情報交換、親睦、財務電算マニュアルや旅費資料の作成等です。学校予算は本校の例で、普通学級15、児童数450名で、消耗品540万。区教委がここ数年図書館整備に力を入れていて、別枠で図書費125万。学校長の契約権限は30万です。台東区は生活保護受給率が東京都で1位、全国で大阪に次いで2位で、財政状況がたいへん厳しく、来年度以降の予算の大幅削減が色々なところから言われています。」

- 司 会「ありがとうございました。続きまして、事前アンケートに沿って、支部の現状について、もう少し具体的にお聞きしていきたいと思います。最初に、台東支部以外には臨時職員が配置されているようですが、仕事の分担についてお聞かせください。」
- 三 鷹「各校で微妙な違いはあると思いますが、市費職員は消耗品費を担当しています。就学援助を担当している学校も多いです。」
- 司 会「板橋区では文書管理を担当していますが、三鷹では？旅費は？」
- 三 鷹「文書管理はどちらも担当しています。旅費は主に都費事務職員が担当しています。」
- 新 宿「臨時職員の仕事は文書整理等のこまごました雑用等に限定されています。新宿区は仕事の殆どをパソコンで処理しますが、事務補助にはIDが付与されていませんので、直接仕事に関わるような事務分掌はありません。」
- 小 平「学校間で微妙な差はありますが、基本的には学校令達予算の執行と校内予算の編成です。副校長や都費事務職員が予算編成をしている学校もありますが、市嘱託員が予算案を作成して予算委員会で精査、副校長が承認という形が一般的です。」
- 島しよ「臨時職員の配置はありません。一人いてくれると助かりますが…。学校行事の後に校内の清掃をする臨時職員の予算は村役場で確保しています。」
- 東大和「市の臨時職員は予算執行を担当しています。都費事務職員は執行できませんので…。やはり金庫番は強いですね。（一会場笑）特に定年もありませんので、年齢的にも立場的にも管理職より上の方もいらっしゃいます。（一会場笑）あとは、給食費。口座登録や未納督促、収納等を担当しています。」
- 台 東「要準加配未配置校と再任用短時間職員配置校のみです。事務補助ですので明確な分担はなく、学校によって違います。本校では副校長が作成する配布物の印刷等です。」
- 司 会「ありがとうございました。やはり財政を握っているのは強いという事ですね。（笑）私達（都費）事務職員も、学校の中で立場を確保するには、お金を握って力を発揮する事が大きいのでは？と思います。次に、近年、新採補充が無いで、他局からの転入職員や再任用職員が増えていますが、それらの方々の事務職員会活動への参加や取り込みについて、事務職員会としての課題がありましたらお聞かせください。」
- 三 鷹「高校や他区他市からの方はまだ良いのですが、病院等から来た方は苦勞されています。2年前までは鷹教研学校事務研究部の場で毎月2時間半、転入者のフォローができていました。市教委にもこれらの重要性を訴えたにもかかわらず、学校事務研究部は廃部になりました。現在は東大和市と同様、メールを活用して日常業務や市教委の動きについて情報提供し、フォローしています。」
- 司 会「転入職員の方の事務職員会活動への参加意欲はいかがですか？」
- 三 鷹「貴重な情報交換の場として参加は多いのですが、反面、慣れない学校事務の仕事に疲れ果て、体調を崩して休職する方が増えています。特に中学校が多いです。」
- 新 宿「年度当初に区教委が転入者対象のイントラ研修を実施します。事務職員会では定例会終了後に情報交換、質問事項を集めてQ&A形式で答える会も別途開催しています。」

司 会「事務職員会活動への参加意欲はいかがですか？」

新 宿「積極的で、自然に溶け込んでいます。」

小 平「実は私も5年前に他局から来ました。27人規模の事務職員会に他局から5、6人が転入し、私自身も苦勞した記憶があります。当時は研修会も無く、事務職員会も歓送迎会でお互いの顔がわかる程度で、動いていませんでした。「新しく来た人をどうするんだ?!」という自分自身の苦勞の体験から、市教委に対し「せめて事務研修だけはやってください」とお願いし、22年10月に指導課主催の研修ができました。事務職員会で企画立案、転入者以外も全員参加対象とし、研修の場で新しく来た人を全員でフォローする体制としました。レジメやフローチャートで年度当初の事務の流れを説明し、ベテランの事務職員がアドバイスします。顔と名前を覚え、研修後も電話・メール等でフォローします。22年度末には市教委から、転入職員用マニュアルの作成依頼が私に個人的にきましたので、「新しく小平市立公立学校の事務職員になられた方へ」という表題で、都費負担事務職員の位置付けや職務についての説明資料を作りました。それ以来、現在まで転入職員をフォローする体制を維持しています。」

島しよ「私は、島の異動は3回目です。最初は新採で三宅島で、2000年の噴火の前でした。当時は小学校3校、中学校3校、計6校で事務職員は6人。私以外は皆三宅島の出身で「島外から尚且つ新採」は私が第1号でした。たいへん不安でしたが、5人の先輩方が手取り足取り教えてくださり、研修の「制度」は無かったのですが、当時の村教委の担当者が私に対してあまり協力的・好意的でなかった事もあり、(余計に)「皆でこの新人を何とか一人前にしてやろう!」という雰囲気でした。

2回目は八丈島の更に先の青ヶ島という小さな島でした。私もそれなりにベテランになっていましたので、それほど戸惑いはしませんでした。出張時に船が欠航すると隣の八丈島でよくお世話になりました。当時小学校5校・中学校3校の事務職員会に参加させていただいた時、「教え合う体制」が確立しているなど感じた事を思い出します。

島しよの課題は、今いる利島のような小さな島では「教え合う体制」が無い事です。そのかわり教育委員会との関係が非常に密で、解らない事はすぐに問い合わせできます。

今後は島しよにも他局からの転入者が来る事が予想され、引継書だけではなくマニュアルが必要になってくると思います。今から準備しておかねば…と思っています。」

東大和「東大和は、嘗ては「ごみ問題・リサイクル」で都公小事や都公中事、関ブロ大会等で発表した「発表大好き地区」でした。当時は事務職員会と事務研究会で月に2時間半ずつ2回活動していました。その後、転入者が増えて、外に向けての発信に疲れ、会合も学校教育部長が招集する事務連絡会の形になりました。2時間45分の事務連絡会は市教委からの事務連絡だけではもったいないので、事務職員会・事務研究会の3つの顔を持たせています。(学校教育部長招集の)「事務連絡会」の終了後に事務職員会・事務研究会をやりますから、転入者も嫌でも参加していただいています。

活動内容は、今は外への発信に疲れているので、4本のマニュアル「実務の案内」「新採ハンドブック・転入者Q&A」「再任用職員等ハンドブック」「採用から退職までの福利厚生」の改訂が中心です。「新採ハンドブック・転入者Q&A」は、事務職員向けではなく教職員向けのマニュアルです。月1回しか集まれませんから、改訂作業もメールで行います。今年度は15人を5人ずつに分けて3つのマニュアルを改訂しました。黒文字の原稿を各々自分に決められた文字色で改訂し、互いに検討します。「アカレンジャーのここ、オカシイぞ…」と、ミドレンジャーが指摘するとか…。(笑)

転入者研修は、市も事務職員も行っていないが、「役員個別サポート制度」(年齢・性別等を考慮して役員が個別に転入職員をフォローする制度)と、「事務日程カレンダー」(先述)、『実務の案内』の作成(項目別にはなっていますが、いちばん最初に『一年の流れ』がありエクセルシートのハイパーリンクで具体的な項目・内容まで参照できるように作られています)また、市教委は、都教委の市教委担当者対象の事務説明会に、転入学校事務職員も出席できるよう、配慮してくれています。」

台 東「今年度は他局からの２名の再任用職員が転入しました。うち一人は小学校の経験がある方です。二人とも事務職員会に参加しています。資料には「区教委主催の財務研修」とありますが、『解らなければ教えてくれると』という感じで、今年は集まっての研修はありませんでした。事務職員会作成のマニュアルを見ながらやれば何とかできて、年度当初もさほど困る事はありませんでした。でも、東大和のお話は羨ましいなと思います。誰に聞いたら良いのか解らないような事を気軽に聞ける体制や、前任者以外の方のお話も聞ける事は助かると思います。台東は月１回の事務職員会で情報交換に努めています。」

司 会「ありがとうございました。今のお話を伺いますと、事務職員会活動の原点は、此処にあるのかな？と思いました。各校単数配置ですので、新しく来た人達をどうやってフォローしていくのか？という所から、事務職員会活動が始まったのだと思います。小平のお話でも、事務職員会活動を無くしてしまうと、新しく入って来た方はどうやって仕事をしい良いのか解らないという困難に直面する。結局は教育委員会主催にせよ、再び集まる機会を設けざるを得なくなると。東大和マニュアルは素晴らしいですね。他支部ではマニュアルについてはいかがでしょうか？」

三 鷹「三鷹市ではマニュアルはありません。無い理由は、皆さん飲み込みが速いのと、三鷹市の業務がさほど複雑ではないからでしょうか？マニュアルについては、小平の方と同様に、誰かが地教委に頼まれて、言葉は悪いですが暇に任せて、何らかの形で作ったものが他の地区にもたくさんあるのではないのでしょうか？また、新しい事業の開始時等に事務職員の負担軽減のために市教委と事務職員会が共同でマニュアルを作る、という例もあります。私も調布市事務職員会でマニュアルを作り、都公小事の研究大会で発表・配布しました。たいへん良いものですので、皆さんも一度是非ご覧ください。」

新 宿「新宿区では『困った時のエンマ帳』と題して、給与・旅費・福利厚生についてのマニュアルを事務職員会で作成、事務室に常備して規則改正等があると更新しています。また、財務電算導入時には『イントラ操作マニュアル』を作成しました。今年度は『事務引き継ぎマニュアル』を作成しました。」

司 会「マニュアル作りの担当は？得意な方や有志ですか？」

新 宿「以前は研究部で担当していましたが、ブロック会が無くなり、現在は事務職員会の後に各ブロックから担当者を出して作業しています。」

小 平「小平もマニュアルは作成していません。先程お話ししたものは私が個人的に作ったもので、市教委は、全く学校事務の経験の無い方のみに配布しています。市教委は年３回、給与旅費・年末調整・昇給の事務説明会を開催してくれますが、転入者は就学援助事務に戸惑います。小平では、申請書の受付や請求手続を、全て学校で行うからです。そこで、５月に実務研修を設け、学務課からの説明と事務職員会からの更に実務的な説明を行います。その研修資料が、ある意味でマニュアルとして使えるかな？と思っています。」

島しよ「利島の教育委員会は、教育長と事務局職員の二人で『人が変わると事務処理も変わる』『良く言えば小回りがきく。悪く言えばやりにくい』があり、戸惑いもあります。私は自分がある間に、一年の流れと、運動会の補助金等の島特有の複雑な事務処理についてのマニュアルを作りたいと思っています。都の関係の事務については、都公小事の給与事務の手引きや教育庁人事部勤労課の資料はとても役立っています。」

東大和「東大和も都公小事の給与事務の手引きは重宝しています。小平のような市教委説明会はありません。事務連絡会冒頭に『市教委より』がありますが、市教委が多忙な時は役員が代理で伝達します。『実務の案内』は、もともとは事務職員会にその都度持ち込まれた事例集でした。事例がファイル４冊分になった時に体系づけ、整理し、電子マニユア

ルとして完成しました。他地区でも、事例を集約・整理すればマニュアルができると思います。パソコンが苦手な職員には夏休みに内部講師でパソコン研修も行っています。」

台 東「財務・備品管理等の電算処理については事務職員会でマニュアルを作成しています。報償費等の前渡金を副校長が担当している事もあり、マニュアル自体はシンプルです。給与・旅費・福利厚生については、都教委や都公小事の手引きを使っています。」

司 会「ありがとうございました。次に、『学校徴収金についての規則』ですが、比較的最近になって作られた支部が多いですね。三鷹21年度、台東24年度…。学校給食費の徴収事務についても関わっている支部が幾つかありますね。先日の教育庁総務部長の共同実施の話では『私費も非常勤職員に担当させる』と。近い将来、『私費会計も事務室で』という動きは出て来ると思います。『学校徴収金についての手引を作るように』との指示が、既に数年前に都教委から地教委に出ており、それを受けて地教委が各々規則を作成した訳ですが、現状では、事務室は私費会計にどの程度関与していますか？」

三 鷹「都内の某中学校で修学旅行の徴収金の不適切な執行があり、都教委から地教委に例の通達が出たと聞いています。三鷹市も規則を作りましたが、学校現場はなかなかそのように動かず所定の帳票も各校で扱いがまちまちのようです。総務課は学校視察も行って、指導が徹底してくれば一律の管理ができると思います。給食費を扱っている事務職員は多く、教材費を扱っている事務職員も若干います。全て口座引き落としで現金を扱わないメリットに着目し『一元管理をしたい』と言う校長が増えていきます。一元管理では事務職員が全ての費目に関わらざるを得なくなり、仕事が増えると考えています。」

新 宿「新宿区では今年度、規則ができました。現在は、事務室は学校徴収金には直接は関わっていませんが、これからは、そういう事が起こってくるかも知れないと思っています。」

小 平「22年度に規則ができましたが、事務職員会には詳しい情報が伝わって来ず、私自身も把握しきれしていません。例の話を受けて庶務課から副校長会に話があり、副校長会で規則を作成しました。小平の規則には事務職員が関与するとの内容が殆ど書いてありませんでした。実態は学校によってまちまちで、現金を郵便局や銀行に預入する程度の簡単な業務しかやっていない学校もあれば、全く何もしていない学校もあれば、未納の督促までやっている学校もあります。」

島しよ「私は現在給食費徴収を行っています。児童・生徒・職員を合わせても50名足らずで、集金袋での集金です。副教材は教員が担当しています。来年度から副教材費の公費負担の方針が出され、『給食費もいずれは全額公費化に向かう』と、教育長は話しています。」

東大和「22年度に規則ができましたが、事務職員の職務については具体的に書かれていません。実態としては、『校内検査員』という帳簿の点検役を依頼された事務職員が数名います。私も教員の帳簿を点検しましたが、領収書が無かったり、まとめて年度末に記帳したりで、本校では今年度から全学年分の帳簿を私がつけています。東大和市は財務電算を全所属一斉に設置した、全国初の自治体だそうで、その時に入ったアプリケーションソフトで現在も給食費を管理していますので、給食費は市費職員が担当しています。」

台 東「他の学校について全て確認はしていませんが、概ね同じだと思いますが、本校では給食費だけでなく教材費も含め学校納付金全般の収納を事務室で担当しています。年度当初の保護者宛通知文の作成・配布、信用金庫の引落手続き、引落結果を受けての未納通知の作成・担任経由での配布、転出入時の精算等です。未納督促は、事務は通知を作成し保護者への連絡は担任経由です。基本的には私費会計は教員の仕事となっており、支払は教員が、帳簿は副校長が確認しています。個人的にはもう少し事務室がやれる事ができるように思いますが、全体の流れを見直さないまま部分的に『これならやれる』と引き

受けても上手く行かないと思い、今は前任者から引き継いだ形で静観しています。」

司 会「ありがとうございました。板橋区では『事務職員が検査をする』という事になっており、小学校の事務職員は規則・手引上『帳簿の検査をする』という位置づけですが、徴収から支払までやっている学校もあるようです。

公費と私費の両方を事務室で扱う利点は、あります。全ての費目を一元的に予算管理する事により、従来私費で購入していた教材の中に、『これは公費支出で良いのでは？』という物を見つけ、私費負担の軽減の観点から、予算に余裕があれば、公費負担に切り換えるという判断をすることができます。

事務室に余裕があれば、の話ですが、やはり『財布を持っている者は強い』ですから、『学校の財政的な部分は全て事務室で取り扱う』事は『利点がある』と私は思います。

さて、本日、利島から鈴木さんが来てくださっています。せっかくの機会ですので、ここで島の様子について15分程お話しただければと思います。」

鈴木「それでは、島の事を色々ご紹介したいと思います。昨年10月の小中全都立研究大会でもお話しさせていただきました。手抜きをしまして、52ページからの資料は、その時の抜粋です。

先程お話ししましたように、私が島へ行ったのはこれが3回目です。最初は新任の時に、『これを逃すと採用無いよ…』とか色々言われまして…。(笑)でも、私は島が嫌ではなかったもので、逆に喜んで、嬉しくて三宅島に行きました。三宅島には4年いました。島自体はとても良い島だったのですが、何か…ちょっと…あまり…。これ以上は言えませんが…。(－会場笑－)

それで、『もう島に行く事も無いだろう…』と思いつつ東京(本土)で暮らしていたのですが、ふと、また『島へ行ってみたいな…』と思うようになりまして。あの時は、新採で色々わからなかった事もあって、随分悔しい思いもしたりして。でも、今だったら仕事にも慣れたし、もう少し上手くできるかな?と思って平成13年に、また島を希望しました。「何処でも良い」と書いたら青ヶ島に。正直、自分で島を希望しておいて何ですが、青ヶ島と聞いて『これはえらい事になったぞ…』と思いました。でも仕方無いと、覚悟を決めて赴任しましたが、嬉しい誤算とは正にこういう事ではないでしょうか?青ヶ島は私の人生の中で、本当に楽しい時間でした。たまたま一緒に行った教職員のメンバーも良かったのだと思いますが、その当時は青ヶ島は『2年島』と呼ばれていて、2年で交替する事になっていました。2年たって、もう少し居ようかとも思ったのですが、一緒に赴任した教員が帰るし、寂しくなるので私も帰りました。

その後、足立区へ行き、暫く(本土で仕事を)やっていましたが、やはりどうしてもまた島に行きたくなってきて、3回目の島への希望を出しましたところ、よほど小さい島に縁があるのか、今度は利島…自分の異動希望調書を見たら、利島は第6希望に書いていました…。確かに希望に書いてた…仕方無いや…と赴任しました。利島も行けば行ったで、先程は教育委員会への文句とか言いましたが、とても楽しい毎日を送っています。仕事は勿論、それなりにキビシイ面もありますが、自然が好きなら、島の生活は本当に良いものだと思います。

学校のお話を。私は小中学校を兼務しています。予算は、小学校費、中学校費、学校給食費、学校管理費、教育振興費の5つの会計に分かれています。ややこしいです。今年から教育委員会の担当者が替わり、先程は『人が替わるとやり方も変わって…』と愚痴を言いましたが、今回はむしろ、良くなりました。来年度から、小学校費と中学校費に分かれていた学校管理費が、小学校費に一括され、事務処理がやり易くなります。予算は意外と潤沢です。5つに分かれていますので、『こっちの費目は余ってるのに、こっちは足りない。』という時、融通が効きませんが、予算管理はさほど苦労はしていません。

苦労していると言えば、連合運動会でしょうか?学校の運動会ですが、村の行事という事になっていまして、村民の皆さんも参加することができます。村民の皆さんが色々な競技に参加すると、その都度、参加賞が貰えます。退場門に色々な賞品が置いてあって、好きな物を持って行きます。洗剤・ゴミ袋・ティッシュペーパー等の日用品です。その

購入予算が前渡金で学校に来て、私が購入します。更に3位までに賞品が出る競技があります。リレー、綱引き、ムカデ競走です。1位はビール500mlのロング缶が1箱（24本）、2位は12本、3位は350mlが12本です。学校職員も参加しますが、『打ち上げ用のビールを獲れよ！』と。他のチームも同じで、皆ビール確保のためにガンバります。リレーは学校チームも負けてはいませんが、綱引きでは建設会社のチームがダントツに強いです。（笑）絶対にかないません…。（－会場笑－）いつも優勝を持って行かれます。

更に、これらの競技が終わりますと抽選会、福引があります。運動会のプログラムに通し番号が印刷されていて、村長が抽選します。二百数十人参加して百人位に当たりますので、2.5人に1人位の確率でしょうか？村民の皆さんはとても楽しみにしています。その景品を準備するのも私の仕事です。2年目こそ、楽しんで準備ができましたが、1年目は訳が解らず、『どうしようか?!…』という状態でした。因みに、この抽選会の景品は、いちばん上から、特等、特一等、一等、特二等、二等椅子席、二等和室、二等席無となっています。これ、何かお解りでしょうか？皆さん。東海汽船の船の座席の等級です。（－会場笑－）

このように、連合運動会は、先生方は子どもたちの指導でタイヘンですが、村民の皆さんにとっては楽しみの一つになっています。事務職員にとっては客観的に見て、やはり準備等でタイヘンな行事だなと思います。

その他にも、学校行事として学芸会や展覧会があります。学芸会は大人も参加して良い事になっていて、けっこう芸達者な方がいらっしゃいます。展覧会も、子どもの作品だけでなく、大人も出品できます。

私自身は島の生活を楽しんでいますが、島の生活では、プライバシーは『殆ど無い』と言って良いかも知れません。例えば、家に籠ってれば誰にも会わなくて済みますが、そうすると、『あいつは家にずっと籠っていて、一緒に飲む友達もいないのか?!』と噂されたりするので、家に籠っていてもプライバシーは無いんだなど。また島を離れる時も、必ず港で人に会いますので、『あいつまた東京出るのか…』と。私は先週も、互助会の総会に出るために出て来ましたので、1週間に2回…。『あいつ、よく出て行くな…』と噂されているかも知れませんが、いちいち気にしていたら、何もできませんので…。

島しょ支部には小笠原を含めて11の島があります。『島』と一口に言いましても11の島其々に仕事に違いがあり、生活にも違いがあります。学校事務の仕事も、基本的な部分は同じですが、やはり島其々に違いがあり、独特な部分もあります。島しょ支部、大島支部と言いましても、島の一つ一つが『一つの支部』と言っても良いのではないかと思います。支部と言っても事務職員一人きりの島もありますが、それでも他の島とは一括りにできない独自性があると、私は思っています。

『島なんか冗談じゃない、絶対に嫌だ』という方もいらっしゃると思いますし、人其々だとは思いますが、少しでも興味のある方は、家庭の事情等が許せば、是非一度経験してみただけければと思います。私達都の職員は、折角、島を経験できる身分にありますので、『一度言行ってみるのも悪くないのでは?』と、私個人としては思っています。もしも解らない事や聞いてみたい事がありましたら、学校のホームページにメールアドレスが出ていますので、お問い合わせいただければと思います。』

司 会「鈴木さん、ありがとうございます。都庁でも島への赴任希望者が少ないようで、板橋では都からの『島しょ案内』が、8回か9回、学校にメール配信されています。島は決して悪い事ばかりではないそうですので、希望してみても良いカナ?と思う方は、ぜひトライしてみてください。」

司 会「では、最後に、『この事についてもう少し聴いてみたい…』というご質問等がありましたら、挙手でどうぞ。」

三 鷹「会場からの質問が無いようですので、私から東大和と小平の方にお尋ねします。意外と言っては失礼ですが、市の教育委員会が学校事務に対して理解してくださり、協力してくださっているようですが、嘗て無くした事務職員の研究会が、実務研修会の形で復活した経緯・流れ・力学等について教えてください。」

小 平「今から2, 3年前に実務研修が立ち上がりましたが、もともとは、『(市教委と事務職員会の) お互いの利害が一致した』という事だと思います。事務職員会としては、新しく学校に来た人が(研修が)何も無い中で、『誰がどうやって仕事を教えていくんだ?!』と。(転入者は)解らないとすぐ市教委に電話で問い合わせをする。その件数は半端なものではなく、年度初めは市教委の電話が鳴りっぱなしの状態、市教委もかなり困っていたと。そこで、『学校事務職員の知識やノウハウを共有・継承を図りたいので研修会を作って欲しい。市教委の仕事(問い合わせ対応)も減るのではないですか?』と良い意味での取引の交渉を重ね、研修の必要性を文書化して、22年10月に見事、指導課主催の形ではありますが、事務職員研修が実現しました。」

東大和「私達は、別に研修会を禁止された訳ではありません。発表大好き支部が発表に疲れたちょうどその頃、都立学校で校長会の集まる回数に制限が出て、『これは間違いなく事務職員会にも回って来るぞ…』と、自分達から『1回にしよう』と決めました。時間も半分になるし。以前から、事務職員会の場を市教委の連絡の場として逆に提供していましたが、校長会が『あまり外に出るな』と規制を受け、校長会は教育長が招集する形となったため、事務職員会も市教委主催、学校教育部長の招集とした方が良かったらという事になりました。実際は、企画立案も出張依頼文の作成・配信も私達が行っています。要は、『形を整えた』という事です。」

司 会「ありがとうございました。時間が参りました。支部の色々な現状をお話いただきましたが、『やはりまだ、事務職員活動というものは、必要なのだ。』と、私は今回、再認識した次第です。皆さんはいかがでしたでしょうか?それではこれにて、研究協議2を終了いたします。ありがとうございました。」(一会場拍手)



(※当日の録音をもとに、広報部で編集・再構成しました)

編集後記

東京の「共同実施」が始まります。

江東区と武蔵村山市の動向を、東京中の小中学校事務職員が、固唾を呑んで見守っています。

研究大会の「支部紹介」では、「私費会計への事務職員の関わり」が話題となりました。

司会の岩上会長も、教育庁松山総務部長の共同実施の話『私費も非常勤職員に担当させる』を引用し、「近い将来、『私費会計も事務室で』という動きは出て来るだろう。」との見解を示しました。

「共同実施」については、かいほう180号と同時に発行されました、「全事研東京小支部だより」に、国立教育政策研究所の藤原文雄先生と、千葉県成田市立西中学校の三浦由起子事務長の講演が掲載されています。ぜひ、こちらもご覧ください。

「事務職員は、学校に要るから、学校に居る。」 いよいよ、正念場を迎えます。

(広報部長 小野 明)

☆日本教育新聞（2月4日）（日本教育新聞社 転載許可取得済）

「学校事務最前線—教育部門と運営部門の連携を—」

(5) 学校経営

(第3種郵便物認可)

日本教育新聞

学校事務最前線

学校づくりへの取り組みと課題



齋藤 直美
東京都立川市立
第一小学校主任

研究会
学校校長

れにしても、文末
気を付けて、教頭
取れる「策」を書
である。

村上 伸一
す。
「それとは別々、業をした
へ、あるいは自立するこ
とからの逃避を甘えたりす
ることがあります。そのよ
うな場合は、決して甘やか
してはいけな」と思いま
す。「甘えさせろ」とい
います。
「このことが重要です。
そのために、「学校と家庭
が協働して子どもを育てま
す」という地域も含めてみん
なで子育てを共有し、「ま
ま」の立場に立って
話をするのが重要だと考え
ます。」

日本は資源と言えは
人材しかない。ところが
今日、人材教育とい
う重要な役割を担う学
校では、多くの課題を
抱えている。その一つ
として私は、小・中学
校で、教師が子どもと
向き合う時間を十分取
れないほど、校務が多
忙化していることを幸
げたい。要因はさまざま
だが、調査回答、報
告書作成、私費会計等
の校務が増加している
ことがある。

教育部門と運営部門の連携を

門と、事務・給食・用
務等の運営部門の業務
のバランスを取ること
である。二つの部門は
車の両輪である。運営
部門が担うべき業務は
もっとあるのではない
だろうか。事務職員で
いえば、私費会計、教
科書・転入等の事務
サービス・任用関係の書類
作成補助など多々あ
る。私は、現金集金で
ある私費会計を口座振
替に切り替える計画を
立案し、改善するメリ
ットの説明を行い、保
護者に配布する資料の
作成等を分担した。
二つ目は、部門間で
連携して仕事を進める
ことである。そのため
には、両部門で短時間
でも定期的に会合を設
定するのが有効だ。課
題・情報を共有でき、
力を発揮する機会が増
えることを強く期待し
たい。

学校運営組織の改善策②

一つ目は、教務、生
活指導といった教育部

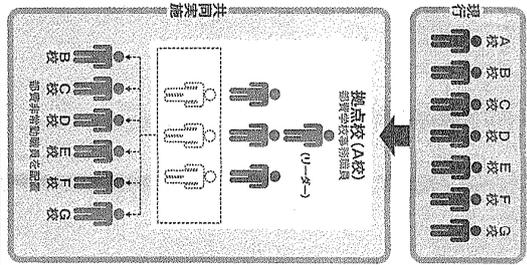
☆日本教育新聞（3月25日）（日本教育新聞社 転載許可取得済）

「学校事務 新タイプの共同実施モデル試行へ」

日本教育新聞

平成25年(2013年)3月25日(月曜日)

(毎週月曜日発行)



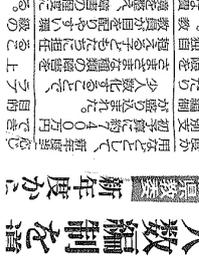
学校事務 新タイプの共同 実施モデル試行へ

東京都教委

東京都教委は、東京都立小中学校から学校事務共同実施モデル試行する。これは、従来の「1人1校」から「1人2校」へと変化する。従来の「1人1校」では、1人の事務職員が1校の事務を担当していた。しかし、このモデルでは、1人の事務職員が2校の事務を担当する。これにより、事務職員の数を削減し、教育に専念できる。また、このモデルは、東京都立小中学校のみに限らず、他の自治体にも導入される可能性がある。

拠点校以外に「秘書」配置 副校長の負担軽減を目指す

東京都教委は、東京都立小中学校から学校事務共同実施モデル試行する。これは、従来の「1人1校」から「1人2校」へと変化する。従来の「1人1校」では、1人の事務職員が1校の事務を担当していた。しかし、このモデルでは、1人の事務職員が2校の事務を担当する。これにより、事務職員の数を削減し、教育に専念できる。また、このモデルは、東京都立小中学校のみに限らず、他の自治体にも導入される可能性がある。

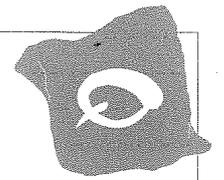


東京都教委は、東京都立小中学校から学校事務共同実施モデル試行する。これは、従来の「1人1校」から「1人2校」へと変化する。従来の「1人1校」では、1人の事務職員が1校の事務を担当していた。しかし、このモデルでは、1人の事務職員が2校の事務を担当する。これにより、事務職員の数を削減し、教育に専念できる。また、このモデルは、東京都立小中学校のみに限らず、他の自治体にも導入される可能性がある。

日本教育新聞社 発行所
〒105-8460 東京都港区新橋2丁目1-2-8
電話03(510)7771-7772-7773
FAX03(510)7774-7775
03(510)7776-7777
03(510)7778-7779
03(510)7780-7781
03(510)7782-7783
03(510)7784-7785
03(510)7786-7787
03(510)7788-7789
03(510)7790-7791
03(510)7792-7793
03(510)7794-7795
03(510)7796-7797
03(510)7798-7799
03(510)7800-7801
03(510)7802-7803
03(510)7804-7805
03(510)7806-7807
03(510)7808-7809
03(510)7810-7811
03(510)7812-7813
03(510)7814-7815
03(510)7816-7817
03(510)7818-7819
03(510)7820-7821
03(510)7822-7823
03(510)7824-7825
03(510)7826-7827
03(510)7828-7829
03(510)7830-7831
03(510)7832-7833
03(510)7834-7835
03(510)7836-7837
03(510)7838-7839
03(510)7840-7841
03(510)7842-7843
03(510)7844-7845
03(510)7846-7847
03(510)7848-7849
03(510)7850-7851
03(510)7852-7853
03(510)7854-7855
03(510)7856-7857
03(510)7858-7859
03(510)7860-7861
03(510)7862-7863
03(510)7864-7865
03(510)7866-7867
03(510)7868-7869
03(510)7870-7871
03(510)7872-7873
03(510)7874-7875
03(510)7876-7877
03(510)7878-7879
03(510)7880-7881
03(510)7882-7883
03(510)7884-7885
03(510)7886-7887
03(510)7888-7889
03(510)7890-7891
03(510)7892-7893
03(510)7894-7895
03(510)7896-7897
03(510)7898-7899
03(510)7900-7901
03(510)7902-7903
03(510)7904-7905
03(510)7906-7907
03(510)7908-7909
03(510)7910-7911
03(510)7912-7913
03(510)7914-7915
03(510)7916-7917
03(510)7918-7919
03(510)7920-7921
03(510)7922-7923
03(510)7924-7925
03(510)7926-7927
03(510)7928-7929
03(510)7930-7931
03(510)7932-7933
03(510)7934-7935
03(510)7936-7937
03(510)7938-7939
03(510)7940-7941
03(510)7942-7943
03(510)7944-7945
03(510)7946-7947
03(510)7948-7949
03(510)7950-7951
03(510)7952-7953
03(510)7954-7955
03(510)7956-7957
03(510)7958-7959
03(510)7960-7961
03(510)7962-7963
03(510)7964-7965
03(510)7966-7967
03(510)7968-7969
03(510)7970-7971
03(510)7972-7973
03(510)7974-7975
03(510)7976-7977
03(510)7978-7979
03(510)7980-7981
03(510)7982-7983
03(510)7984-7985
03(510)7986-7987
03(510)7988-7989
03(510)7990-7991
03(510)7992-7993
03(510)7994-7995
03(510)7996-7997
03(510)7998-7999
03(510)8000-8001
03(510)8002-8003
03(510)8004-8005
03(510)8006-8007
03(510)8008-8009
03(510)8010-8011
03(510)8012-8013
03(510)8014-8015
03(510)8016-8017
03(510)8018-8019
03(510)8020-8021
03(510)8022-8023
03(510)8024-8025
03(510)8026-8027
03(510)8028-8029
03(510)8030-8031
03(510)8032-8033
03(510)8034-8035
03(510)8036-8037
03(510)8038-8039
03(510)8040-8041
03(510)8042-8043
03(510)8044-8045
03(510)8046-8047
03(510)8048-8049
03(510)8050-8051
03(510)8052-8053
03(510)8054-8055
03(510)8056-8057
03(510)8058-8059
03(510)8060-8061
03(510)8062-8063
03(510)8064-8065
03(510)8066-8067
03(510)8068-8069
03(510)8070-8071
03(510)8072-8073
03(510)8074-8075
03(510)8076-8077
03(510)8078-8079
03(510)8080-8081
03(510)8082-8083
03(510)8084-8085
03(510)8086-8087
03(510)8088-8089
03(510)8090-8091
03(510)8092-8093
03(510)8094-8095
03(510)8096-8097
03(510)8098-8099
03(510)8100-8101
03(510)8102-8103
03(510)8104-8105
03(510)8106-8107
03(510)8108-8109
03(510)8110-8111
03(510)8112-8113
03(510)8114-8115
03(510)8116-8117
03(510)8118-8119
03(510)8120-8121
03(510)8122-8123
03(510)8124-8125
03(510)8126-8127
03(510)8128-8129
03(510)8130-8131
03(510)8132-8133
03(510)8134-8135
03(510)8136-8137
03(510)8138-8139
03(510)8140-8141
03(510)8142-8143
03(510)8144-8145
03(510)8146-8147
03(510)8148-8149
03(510)8150-8151
03(510)8152-8153
03(510)8154-8155
03(510)8156-8157
03(510)8158-8159
03(510)8160-8161
03(510)8162-8163
03(510)8164-8165
03(510)8166-8167
03(510)8168-8169
03(510)8170-8171
03(510)8172-8173
03(510)8174-8175
03(510)8176-8177
03(510)8178-8179
03(510)8180-8181
03(510)8182-8183
03(510)8184-8185
03(510)8186-8187
03(510)8188-8189
03(510)8190-8191
03(510)8192-8193
03(510)8194-8195
03(510)8196-8197
03(510)8198-8199
03(510)8200-8201
03(510)8202-8203
03(510)8204-8205
03(510)8206-8207
03(510)8208-8209
03(510)8210-8211
03(510)8212-8213
03(510)8214-8215
03(510)8216-8217
03(510)8218-8219
03(510)8220-8221
03(510)8222-8223
03(510)8224-8225
03(510)8226-8227
03(510)8228-8229
03(510)8230-8231
03(510)8232-8233
03(510)8234-8235
03(510)8236-8237
03(510)8238-8239
03(510)8240-8241
03(510)8242-8243
03(510)8244-8245
03(510)8246-8247
03(510)8248-8249
03(510)8250-8251
03(510)8252-8253
03(510)8254-8255
03(510)8256-8257
03(510)8258-8259
03(510)8260-8261
03(510)8262-8263
03(510)8264-8265
03(510)8266-8267
03(510)8268-8269
03(510)8270-8271
03(510)8272-8273
03(510)8274-8275
03(510)8276-8277
03(510)8278-8279
03(510)8280-8281
03(510)8282-8283
03(510)8284-8285
03(510)8286-8287
03(510)8288-8289
03(510)8290-8291
03(510)8292-8293
03(510)8294-8295
03(510)8296-8297
03(510)8298-8299
03(510)8300-8301
03(510)8302-8303
03(510)8304-8305
03(510)8306-8307
03(510)8308-8309
03(510)8310-8311
03(510)8312-8313
03(510)8314-8315
03(510)8316-8317
03(510)8318-8319
03(510)8320-8321
03(510)8322-8323
03(510)8324-8325
03(510)8326-8327
03(510)8328-8329
03(510)8330-8331
03(510)8332-8333
03(510)8334-8335
03(510)8336-8337
03(510)8338-8339
03(510)8340-8341
03(510)8342-8343
03(510)8344-8345
03(510)8346-8347
03(510)8348-8349
03(510)8350-8351
03(510)8352-8353
03(510)8354-8355
03(510)8356-8357
03(510)8358-8359
03(510)8360-8361
03(510)8362-8363
03(510)8364-8365
03(510)8366-8367
03(510)8368-8369
03(510)8370-8371
03(510)8372-8373
03(510)8374-8375
03(510)8376-8377
03(510)8378-8379
03(510)8380-8381
03(510)8382-8383
03(510)8384-8385
03(510)8386-8387
03(510)8388-8389
03(510)8390-8391
03(510)8392-8393
03(510)8394-8395
03(510)8396-8397
03(510)8398-8399
03(510)8400-8401
03(510)8402-8403
03(510)8404-8405
03(510)8406-8407
03(510)8408-8409
03(510)8410-8411
03(510)8412-8413
03(510)8414-8415
03(510)8416-8417
03(510)8418-8419
03(510)8420-8421
03(510)8422-8423
03(510)8424-8425
03(510)8426-8427
03(510)8428-8429
03(510)8430-8431
03(510)8432-8433
03(510)8434-8435
03(510)8436-8437
03(510)8438-8439
03(510)8440-8441
03(510)8442-8443
03(510)8444-8445
03(510)8446-8447
03(510)8448-8449
03(510)8450-8451
03(510)8452-8453
03(510)8454-8455
03(510)8456-8457
03(510)8458-8459
03(510)8460-8461
03(510)8462-8463
03(510)8464-8465
03(510)8466-8467
03(510)8468-8469
03(510)8470-8471
03(510)8472-8473
03(510)8474-8475
03(510)8476-8477
03(510)8478-8479
03(510)8480-8481
03(510)8482-8483
03(510)8484-8485
03(510)8486-8487
03(510)8488-8489
03(510)8490-8491
03(510)8492-8493
03(510)8494-8495
03(510)8496-8497
03(510)8498-8499
03(510)8500-8501
03(510)8502-8503
03(510)8504-8505
03(510)8506-8507
03(510)8508-8509
03(510)8510-8511
03(510)8512-8513
03(510)8514-8515
03(510)8516-8517
03(510)8518-8519
03(510)8520-8521
03(510)8522-8523
03(510)8524-8525
03(510)8526-8527
03(510)8528-8529
03(510)8530-8531
03(510)8532-8533
03(510)8534-8535
03(510)8536-8537
03(510)8538-8539
03(510)8540-8541
03(510)8542-8543
03(510)8544-8545
03(510)8546-8547
03(510)8548-8549
03(510)8550-8551
03(510)8552-8553
03(510)8554-8555
03(510)8556-8557
03(510)8558-8559
03(510)8560-8561
03(510)8562-8563
03(510)8564-8565
03(510)8566-8567
03(510)8568-8569
03(510)8570-8571
03(510)8572-8573
03(510)8574-8575
03(510)8576-8577
03(510)8578-8579
03(510)8580-8581
03(510)8582-8583
03(510)8584-8585
03(510)8586-8587
03(510)8588-8589
03(510)8590-8591
03(510)8592-8593
03(510)8594-8595
03(510)8596-8597
03(510)8598-8599
03(510)8600-8601
03(510)8602-8603
03(510)8604-8605
03(510)8606-8607
03(510)8608-8609
03(510)8610-8611
03(510)8612-8613
03(510)8614-8615
03(510)8616-8617
03(510)8618-8619
03(510)8620-8621
03(510)8622-8623
03(510)8624-8625
03(510)8626-8627
03(510)8628-8629
03(510)8630-8631
03(510)8632-8633
03(510)8634-8635
03(510)8636-8637
03(510)8638-8639
03(510)8640-8641
03(510)8642-8643
03(510)8644-8645
03(510)8646-8647
03(510)8648-8649
03(510)8650-8651
03(510)8652-8653
03(510)8654-8655
03(510)8656-8657
03(510)8658-8659
03(510)8660-8661
03(510)8662-8663
03(510)8664-8665
03(510)8666-8667
03(510)8668-8669
03(510)8670-8671
03(510)8672-8673
03(510)8674-8675
03(510)8676-8677
03(510)8678-8679
03(510)8680-8681
03(510)8682-8683
03(510)8684-8685
03(510)8686-8687
03(510)8688-8689
03(510)8690-8691
03(510)8692-8693
03(510)8694-8695
03(510)8696-8697
03(510)8698-8699
03(510)8700-8701
03(510)8702-8703
03(510)8704-8705
03(510)8706-8707
03(510)8708-8709
03(510)8710-8711
03(510)8712-8713
03(510)8714-8715
03(510)8716-8717
03(510)8718-8719
03(510)8720-8721
03(510)8722-8723
03(510)8724-8725
03(510)8726-8727
03(510)8728-8729
03(510)8730-8731
03(510)8732-8733
03(510)8734-8735
03(510)8736-8737
03(510)8738-8739
03(510)8740-8741
03(510)8742-8743
03(510)8744-8745
03(510)8746-8747
03(510)8748-8749
03(510)8750-8751
03(510)8752-8753
03(510)8754-8755
03(510)8756-8757
03(510)8758-8759
03(510)8760-8761
03(510)8762-8763
03(510)8764-8765
03(510)8766-8767
03(510)8768-8769
03(510)8770-8771
03(510)8772-8773
03(510)8774-8775
03(510)8776-8777
03(510)8778-8779
03(510)8780-8781
03(510)8782-8783
03(510)8784-8785
03(510)8786-8787
03(510)8788-8789
03(510)8790-8791
03(510)8792-8793
03(510)8794-8795
03(510)8796-8797
03(510)8798-8799
03(510)8800-8801
03(510)8802-8803
03(510)8804-8805
03(510)8806-8807
03(510)8808-8809
03(510)8810-8811
03(510)8812-8813
03(510)8814-8815
03(510)8816-8817
03(510)8818-8819
03(510)8820-8821
03(510)8822-8823
03(510)8824-8825
03(510)8826-8827
03(510)8828-8829
03(510)8830-8831
03(510)8832-8833
03(510)8834-8835
03(510)8836-8837
03(510)8838-8839
03(510)8840-8841
03(510)8842-8843
03(510)8844-8845
03(510)8846-8847
03(510)8848-8849
03(510)8850-8851
03(510)8852-8853
03(510)8854-8855
03(510)8856-8857
03(510)8858-8859
03(510)8860-8861
03(510)8862-8863
03(510)8864-8865
03(510)8866-8867
03(510)8868-8869
03(510)8870-8871
03(510)8872-8873
03(510)8874-8875
03(510)8876-8877
03(510)8878-8879
03(510)8880-8881
03(510)8882-8883
03(510)8884-8885
03(510)8886-8887
03(510)8888-8889
03(510)8890-8891
03(510)8892-8893
03(510)8894-8895
03(510)88

☆学校事務3月号「教えて！川崎さん！！」（学事出版部監修許可取得済）

「東京の経験を他山の石として、賢明な判断をされることを望みます」



東京で実施されている任用一本化とは、どのようなものか教えてください。また、その功罪も教えてください。

ANSWER 長くは学校にいられなくなりました

東京都の小中学校事務職員の採用方法は1970年に大改正され、都教育委員会が独自に採用する方式から、都庁職員や都立学校職員などと一本化して「一般行政職」として採用する方式に変更されました。これを任用一本化と呼んでいます。

これ以降、都内の小中学校事務室は都の行政職員の配属先の一つとなりました。

都ではジョブローテーションシフトという、主事→主任→主査→課長補佐と昇任するたびに他の知事部局や都立高校へ異動しなればならぬという制度です。長く学校事務一筋ということは基本的にありません。

このように任用が一本化されたのには、事務職員側の都合もありました。都の場合、小中学校事務職員は大卒採用でしたが、そのまま学校にいたのでは管理職登用の道がなく、何とかしてほしいという希望がかなり強くあつたようです。

そのため、事務職員会が実施した全員投票では、一本化を希望する事務職員が過半数を占め、都の提案受け入れが決定されました。

ANSWER 経験の集積はストツクしました

しかし、これにより小中学校の学校事務は大きく毀損されることとなりました。

せつかく学校に配属され、学校事務が面白くなつても、数年後には他局へ異動しなければなりません。これでは本人も、学校事務を深く追求しようという気にはなりがたいでしょう。先輩事務職員も、どうせす

ぐにいなくなる新人だからということで、教育に身が入りません。

他局でキャリアを積んで小中学校に異動してきた職員にも、できるだけ早く知事部局へ戻って管理職試験の勉強に身を入れたという気持ちの人が多いようです。

確かに任用一本化により、学校事務職員にも都の管理職試験の受験資格が与えられました。小中学校には都庁内のような管理職試験のための自主学習組織はなく、切磋して受験意欲を高め合う環境もありません。そこで、管理職を望む人はどうして小中学校からの異動を希望しますか。

このような学校事務職員への希望者が少なく、出たい人が多いという需給のアンバランスによって学校事務は荒廃が進みました。

23区や市町村の学校事務研究活動は下火になり、かつて理事のほとんどを供給して主導的立場を担った全事研本部の活動からも手を引かざるを得なくなりました。

ANSWER ヲイナスの方が目立ちます

このように深刻な状況にある東京も、かつては全国に先駆けて多くの実績を積み、先導的役割を果たしてきました。

いち早く公費会計を主管する立場を確保し、各市区町村が競争して学校財務取扱要綱の制定を勝ち取りました。

ほとんどの地域で事務職員の複数配置を勝ち取りました。フルタイム予算の導入や公費と私費の統一予算執行に取り組んだ地域もあります。しかし、こうした輝かしい成果はもろくも崩されつつあります。複数配置校はほとんど減らされ、最近は学校経営における学校事務の役割も弱まりつつあるように思います。

一本化がフランスとなった面もあります。それは、知事部局や都立学校からの異動者が閉め切られていた部屋にもたらした新しい風です。彼らは私たちの仕事のやり方や執務姿勢に様々な改革提案をしてくれました。

た。そうしたことを考えると、一本化も悪いことばかりではありませんが、しかし、どう考えてもヲイナスの方が大きいと言わざるを得ません。

ANSWER 共同実施・アクトワンシフトも

任用一本化から40年を経過した今日、かつて大卒程度とされていた学校事務職員の採用基準はなくなり、補充はすべて他部局からの異動でまかなわれるようになりました。新規採用職員は見ることがありません。私の勤務していた文京区も、かつては事務職員の半数程度が主査以上に任用されていましたが、今や1名を残すのみとなってしまいました。管理職に目がくらんで学校事務職の確立を自ら放棄した報いというべき結末です。

そして、他部局からの異動希望が少ないことから、近年は都を退職した職員の再任用活用職場とされて、週4日の短期再任用職員が激増しています。それでも欠員は埋められず、都は共同実施によって一気に定数を削減する施策を開始しました。

それは正規職員をセンター校に集中し、その他の学校には非常勤職員のみ配置するという学校事務にとって最悪の方式です。また、将来のアクトワンシフトを見据え

た提言も出されました。

ANSWER 教訓と思うこと

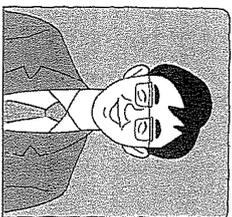
私はもともと学校事務を知事部局の一般事務と同列に論じ、一本化を認めてしまったことに大きな無理があつたと思います。学校教育は、学習環境を整備して子どもの質を保障する働きと、学習を指導し子どもたちを育成する働きの2つによって成り立つ、多くの職種が協働の営みです。

そこで働く学校事務職員は行政職としての知識・能力のほかに、教育に関わる専門的職員としての知識・能力が求められるべきです。そうした事務職員の専門的能力を育成するためには、3年で異動といった方式には絶対的な無理があります。学校事務職が学校教育法によって生まれ、義務教育国庫負担法などで保障された職であるということを一度かみしめてみる必要があるのではないのでしょうか。

近年、任用一本化を進めている県もあるようですが、東京の経験を他山の石として、賢明な判断をされることを望みます。ところで、私は任用一本化の前年に公立学校事務職員として採用されたので、昇任しても学校に残る既得権が与えられ、この職を全うして満足のいく仕事人生を終えることができました。

教えて！川崎さん！！

川崎 雅和★現代学校事務研究会 代表幹事



東京の経験を他山の石として、賢明な判断をされることを望みます